

2022年2月8日

関係各位

東和薬品株式会社

大阪府門真市と認知機能低下の早期発見および 予防に向けたプロジェクトを開始

東和薬品株式会社(本社:大阪府門真市、代表取締役社長:吉田逸郎)は、大阪府門真市 (市長:宮本一孝、以下:門真市)と共同で、認知機能低下の早期発見と予防に向けたプロジェクトを開始しますので、お知らせいたします。

【取り組みの経緯】

当社は、「人々の健康に貢献する」という企業理念のもと、健康関連事業への展開を進めています。 昨年 6 月より「大阪スマートシティパートナーズフォーラム*」(以下、OSPF)に参画し、「高齢者にやさ しいまちづくり」分野のコーディネーター企業として活動しています。

また、門真市では高齢化の進行に伴う課題に対し、「健康寿命の延伸」を方針として掲げ、「健康でいきいきと暮らせるまち」の実現に取り組んでいます。市民に向けた健康意識向上施策や、地域活動の参加、適度な運動による認知機能低下を予防する取り組みへの支援活動を実施してきました。

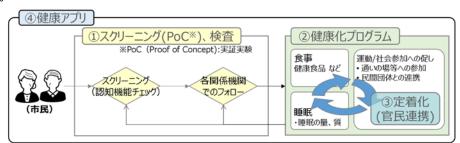
今般、OSPF を介した門真市との協議の結果、認知機能低下の早期発見および予防に関する両者の考えが一致し、2022 年 4 月の実証実験の一部開始を目標に、プロジェクトを始動いたします。

※「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」は"大阪モデル"のスマートシティ実現に向けた推進体制として、大阪府、府内 43 市町村、企業、大学、シビックテックが連携して設立された団体です。

【取り組み内容】

本プロジェクトでは実証実験を通じて、新たなスクリーニング手法で健康無関心層へ早期の気づきと対処を促し、健康アプリを活用したリスクの可視化、および地域で連携し健康化プログラムの定着化に取り組みます。

実証実験の概要



注)スクリーニングは、検討中の評価方法であり診断薬や医療機器として承認を受けたものではありません。

【今後の取り組み】

当社は、本プロジェクトで得た知見、ノウハウを蓄積し、早期の正式サービス化を目指します。データ活用による健康増進サービスを推進し、地域包括ケアシステムや健康寿命延伸に貢献いたします。

以上

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 広報·IR室

〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号

